

宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会 令和7年度事業計画書（案）

* 単位:円

事業区分	区分	事業名	実施時期	対象	7年度予算		6年度決算	摘要	要員数
(1)教育事業	継	①(国史跡)宇佐美小学校見学支援(教室・現地見学)	11月	宇小6年45	5,600			弁当代	8人以上
	継	②宇佐美学校授業支援	随時	宇小全校児童	0			「支援隊」参加	適宜
	継	⑩ 中央区わんぱくキッズ支援	8/3&8/5	中央区児童70	0			夜間講演&午前中2回見学	適宜
	×	(国史跡)宇佐美学園体験入園支援		中央区親子	—			総会開催時までに依頼なし	
	×	宇佐美学園国史跡授業支援		中央区児童	—			総会開催時までに依頼なし	
小計						5,600	0		
(2)保全整備事業	継	③(国史跡・伊豆古道)パトロール・除草等	6月・10月	—	4,000			弁当代 (6年度未実施)	4人以上
	継	④(国史跡)「御石公園」清掃	6月・10月	—	4,000			弁当代 (6年度未実施)	4人以上
	継	⑤国史跡看板の破損、汚損等報告	12月	不特定多数	0				1人以上
小計						8,000	0		
(3)啓発活用事業	継	⑥(第5回)郷土歴史文化遺産展	11月～12月	不特定多数	3,000		0	展示資料作成インク等	適宜
小計						3,000	0		
(4)研究事業		—			—	—	—		
小計					—	—	—		
(5)その他事業	継	⑦宇佐美城山に係る情報収集等	随時	—	0				1人
	継	⑧教育長等へ政策提言	未定	—	0			6年度は未実施	3人以上
	新規	⑨「市民による石丁場遺跡保存活動の歴史」編纂準備	通年		30,000			準備が整った時の印刷製本費	1人
							—		
小計						30,000	4,200		
合計						46,600	4,200		

【補足説明】

- *「①(国史跡)宇佐美小学校見学支援(教室・現地見学)」は、教室授業は講師1人、現地見学は安全管理スタッフ4人×2クラス。
- *「②宇佐美学校授業支援」は、保存会が主管する授業支援以外にも参加する。
- *「⑥(第5回)郷土歴史文化遺産展」は、6年度と同様に資料作成に係る現物支給がある場合は予算額0円となることもある。
- *「⑨「市民による石丁場遺跡保存活動の歴史」編纂準備」は、年度内に原稿作成が完了した場合に印刷製本できる予算を確保した。
- *「⑩中央区わんぱくキッズ支援」の国史跡案内は、今年は午前2回(あるいは、時間をずらす)で、5/27に主催者と調整済み。

★理事会の承認を得て、総予算の範囲内で当初事業計画にない新規事業を行うことができる。

宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会 令和7年度事業の目的

事業区分		事業名	目 的
(1)教育事業	継	①(国史跡)宇佐美小学校見学支援(座学・現地見学)	実地見学により、児童の国史跡に対する関心を深める
	継	②宇佐美学校授業支援	子どもたちへの一層効果的、合理的な授業が行えるように学校授業を支援する。
	継	⑩中央区わんぱくキッズ支援	東京の子どもたちに、江戸城と宇佐美のつながりに関する一層の関心を醸成する。
(2)保全整備事業	継	③(国史跡・伊豆古道)パトロール・除草等	管理者と協議しつつ維持管理に協力する。
	継	④(国史跡)「御石公園」清掃	公園管理者と協議しつつ国史跡の玄関口の美化をはかる
	継	⑤国史跡看板の破損、汚損等報告	市の財産である国史跡遺跡看板の良好な維持管理に協力する。
(3)啓発活用事業	継	⑥(第4回)郷土歴史文化遺産展	宇佐美区、小中学校と共に、市民の歴史に対する関心を醸成する
(4)研究事業			
(5)その他事業	継	⑦宇佐美城山に係る情報収集等	宇佐美城山に係る情報収集等を行う。
	継	⑧教育長等へ政策提言	効果的な文化財行政推進のために政策等の提言を行う。
	新規	⑨「市民による石丁場遺跡保存活動の歴史」編纂準備	保存会活動の記録を整理し後世に伝える。

以上

